

2. 庁舎跡地等の活用に向けた基本的理念と活用の方向性

市の上位計画

- 現庁舎周辺を「にぎわい拠点ゾーン」として位置づけ。（中心市街地活性化基本方針）
 - 商業、業務機能の集積を図り、にぎわいの拠点の形成を目指す。（中心市街地活性化基本方針）
- 商品販売額は、2002～2007 年の直近5年間で約 4 割と、大きく減少している。

市民ニーズ

市民アンケート調査

- 市役所周辺地区のイメージは「多様な用途が混在し、イメージが捉えにくいまち」が最も多い。
—森野・中町地区には多様な用途が混在し、多様な事業所が存在。
- 子ども関連施設、高齢者関連施設、医療施設の導入への期待が高い。
—地区人口は過去 10 年で 15%増加しており、比較的若い世代が多い。（住民基本台帳）
—町田地区の子どもセンターは現在未整備。
- 本庁舎跡地への芸術・文化施設の導入への期待が高い。
—町田市民ホールは 862 席であり、近隣市に比べて規模が小さい。
- 公園・広場に対する満足度が低く、公園・広場整備への期待が高い。
—森野・中町地区には、公園・広場が少ない。（街区公園の不足域が多い。）
- 自動車通行や駐車場、歩行者環境に対する満足度が低い。（一方でバスターミナルの導入への期待は低い。）
—幅員の狭い道路がバス路線となっている。

表 各用地に期待する施設や機能

順位	本庁舎用地	中町第三庁舎用地
1位	子ども関連施設	子ども関連施設
2位	医療施設	医療施設
3位	公園	高齢者福祉施設
4位	文化・芸術施設	会議施設
5位	広場	公園
6位	高齢者福祉施設	高齢者入所施設
7位	会議施設	高齢者向け住宅施設
8位	高齢者向け住宅施設	広場
9位	高齢者入所施設	文化・芸術施設

※「期待する」「やや期待する」をあわせた割合の上位を記載

市役所周辺地区のニーズ

- ＜栄通り商店会のニーズ＞（第2回委員会 栄通り商店会での検討内容の報告）
 - 親しみやすく、ゆったりした街
 - 集客力のある施設
 - 子ども・若者・高齢者が交流できる場交通関連施設の整備／イベント広場／商業施設／公共施設
- ＜町田市中心市街地活性化協議会の森野・中町 WG での検討＞（第6回町田市中心市街地活性化協議会資料）
 - 消防署、税務署の公共施設を統合した集約施設の建設
 - 公園、道の駅、市民ホールを作るなどの総合的な再開発
 - 当地域活性化に必要な施設整備
 - 公共的な生活関連施設、住宅、商店関連施設等の整備、交通関連整備（ロータリー整備）

まちづくりの課題

商業や業務機能
の強化

子育て支援や
高齢者等の生活
支援機能、医療
施設の充実

文化・芸術機能
の強化

憩い・交流の場
の充実

交通環境の改善

基本的理念（案）

新たな賑わいの創出

庁舎跡地等の活用の方向性

◆子育てや高齢者の暮らしを支える拠点づくり

◆人や文化を育む拠点づくり

◆憩い・交流できる広場づくり

◆日常的な来街者（働く人・学ぶ人）を増やす機能の導入

◆交通機能の拠点づくり